

保護者の皆様へ

秋草学園高等学校 校長 関口恭裕

惜春の候 保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。4月1日付けで本校第5代校長として着任いたしました。ご挨拶が遅くなり申し訳ございません。保護者の皆様と学校との信頼関係を基盤とし、連携とご協力をいただきながら生徒の成長を支援してまいりたいと存じます。本校の教育に何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、この度の新型コロナウイルス感染防止により、新入生の保護者の皆様には入学式にご臨席いただけない状況となってしまう、改めて心よりお詫び申し上げます。

4月7日(火)に所沢市民文化センター(ミューズ)大ホールにおいて入学式を挙行させていただきました。247名の新入生は、ご来賓の父母会会長様・副会長様、本校教職員の見守る中、本校に入学されました。

新入生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまでの深い愛情に満ちた温かいご指導に心から敬意を表します。教職員が一丸となり、入学されたお子様がこれからの3年間を有意義に過ごし、各人の目標に向かって健やかに成長できますよう取り組んでまいりますのでよろしく願いいたします。

2年生、3年生につきましては、政府による緊急事態宣言の発令及び県知事が講じた緊急事態措置に基づき、4月8日(水)から臨時休校とさせていただいたことにより、予定していた始業式が実施できておらず、こちらにつきましても心よりお詫び申し上げます。

各学年とも家庭での学習の課題を送付させていただきましたが、チャイムで動く学校での生活と違い、日々の生活リズムをつくるのが難しい状況もあるかと思えます。お子様の健康状況の確認と併せ、こちらにつきましてもご協力をお願いいたします。

なお、以下に私の入学式式辞を添付しましたのでご高覧いただければ幸いです。

(秋草学園高等学校 令和2年度入学式 式辞)

若さの躍動が感じられる新しい季節が巡ってまいりました。父母会会長様をはじめとするご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに「秋草学園高等学校第39回入学式」を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない慶びであります。本来でしたら保護者の皆様にご臨席いただき、在校生も出席し、新入生を盛大にお祝いすべきところですが、新型コロナウイルスの感染防止に鑑み、このような形で実施せざるを得なくなりましたことをお詫びいたしますと共にご理解をお願いいたします。

ただいま本校への入学を許可いたしました247名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはこれまでの努力が実を結んだ結果、本校への入学を果たされました。

学校を代表してお祝いを申し上げますとともに、本校への入学を心から歓迎いたします。

今日から皆さんは秋草学園高等学校の生徒の一員となりました。皆さんには、このことに誇りを持つとともに、保護者をはじめご家族の皆様、これまで皆さんがお世話になった多くの方々のおかげであることをしっかりと心に刻み、初心

を忘れることなく感謝の心を持って、高校生活をスタートしていただきたいと思います。

本校は昭和57年に創立され、以来建学の理念「愛され信頼される女性の育成」のもと、「礼節」「勤勉」「協調」の精神の涵養を重視し、学力はもとより人間性豊かな、調和のとれた女性の育成を目指し、その教育を推進してまいりました。学習だけでなく、部活動や学校行事を重視し、その活動の充実を図っています。

これからの3年間、皆さんが心身を鍛え、その能力を大いに伸ばし、すばらしい仲間や先輩と出会い、交流を深めることにより、心豊かに成長できますよう、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。

ここで、高校生活への期待と希望に満ちあふれているこの機会に、新入生の皆さんに、次の三つのことについてお願いをしたいと思います。

一つ目は、本日から始まる「高校三年間という限りある時間を、どうか精一杯有効に使っていただきたい」ということです。

そのためには、志を持ち、志の実現のための具体的な目標を持つことが大切です。卒業後の進路をしっかりと考え、その目標に向かって自分自身を高めるといふ決意を持つことが必要となります。それが、夢を志に変えるきっかけになります。

また、高校は「生涯学び続ける力の育成の場」でもあります。この力は、「豊かな人間性」、「確かな知識」、「科学的思考・判断力」を統合した力といえます。

そこで、高校は、将来にわたって自分を成長させるための、鍛え・高める場とこころえ、目標に向かって、真剣に、学業のみならず、生徒会行事や部活動などにも取り組み、意欲的な高校生活を送っていただきたいと思います。

よく「子どもには無限の可能性がある」と言われます。ただし、それには、やる気、意欲を持つことが不可欠です。言い換えれば、努力を惜しむ人には、力を発揮する可能性もしぼんでしまうことを意味します。先行き不透明で、厳しいこれからの社会を生き抜いていく皆さんには、高校三年間で、何としても、課題に対して粘り強く取り組む力、諦めず、やり抜く力を身に付けてほしいと思います。

二つ目に、これから始まる高校生活では、「人と人とのコミュニケーションを大事にしてもらいたい」ということです。

例えば、明るいあいさつ、気持ちのよい返事は、すでに良きコミュニケーションに他ならないと思います。

また、当たり前のことですが、誰かに手伝ってもらったり助けてもらったりしたら、「ありがとう」、そして間違っただけを言ってしまうと、「ごめんなさい」という言葉が、心から素直に言えることが必要です。このことが、人間が気持ちよく生活していくための礼儀であり、昔からの知恵です。

人と人とのコミュニケーションにはあいさつや言葉遣いが大切です。感謝は次の感謝を呼び、更に素直さ、謙虚さを持って行動することが、自分自身の向上、自分を磨くことにつながっていきます。

次に三つ目として、「お互いに高めあう真の友人、よきライバルをつくってほしい」と申し上げたいと思います。高校時代に出会った友は、その後の人生においても大切な存在となります。

よきライバルとは、敵愾心や嫉妬心を燃やすことなく、お互い競い合い、励まし合い、尊敬し合える友人関係を築くことです。

尊敬や思いやりの心を持って、相手に接する中で、その気持ちは相手に伝わり、相手も自分を思ってくれ、何でも話し合える、お互いに助け合うという良き関係に発展します。また、自分にはないものを友から学び取り自分を向上させることも

でき、友だちは一生の宝となることでありましょう。

以上、三点申し上げましたが、新入生の皆さんには、先輩をよき手本とするとともに、自らの資質・能力を生かし、最大限の努力を傾けて学んでほしいと思います。

そして、身につけた力を、将来、社会で役立てるという高い志を持って高校生活を送っていただきたいと思います。

続いて、新入生の保護者の皆様に申し上げます。お子様の本校へのご入学、誠におめでとうございます。本校入学までの深い愛情に基づいたご指導に心から敬意を表します。

本校におきましては、生徒たちが多感な青春時代である高校三年間を有意義に過ごし、それぞれの目標に向かって健やかに成長できますよう、教職員一同、全力で教育に当たってまいります。お子様の教育には、保護者の皆様と本校教職員との信頼関係を基盤とした連携・協力が不可欠でございますので、学校と家庭、そして地域が共に手を携え、十分な連携を図り、生徒の成長を支援してまいりたいと考えております。本校において、生徒一人ひとりが充実した高校生活を送り、必要な学力や基本的な資質を身につけ、将来、家庭を支え、地域・社会に貢献し、未来を切り拓く志の高い人間になるよう育成に努めていく所存でございますので、保護者の皆様には、本校の教育方針に何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご来賓の皆様の本校へのご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、これから始まる新入生の皆さんの高校生活が、有意義で生き生きとした活気に満ちたものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和2年4月7日 秋草学園高等学校 校長 関口 恭裕